

アンケート本紙

京都大学文学研究科修士課程修了者アンケート

京都大学大学院文学研究科の教育・研究環境をより良くしていくためのアンケートにご協力をお願いいたします。回答にあたっては、該当する項目に○印を付してください。

1. あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。
 - a. 京都大学以外の日本国内の大学
 - b. 京都大学の他学部、研究科等
 - c. 京都大学文学部
 - d. 日本以外の大学
 - e. その他

2. あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？
 - a. 学部入学後
 - b. 系分属後（2回生のとき）
 - c. 専修分属後（3回生のとき）
 - d. 4回生になってから
 - e. 大学卒業後、社会に出てから
 - f. その他（ ）

3. 進学動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）
 - a. あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。
 - b. 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。
 - c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。
 - d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。
 - e. その他（ ）

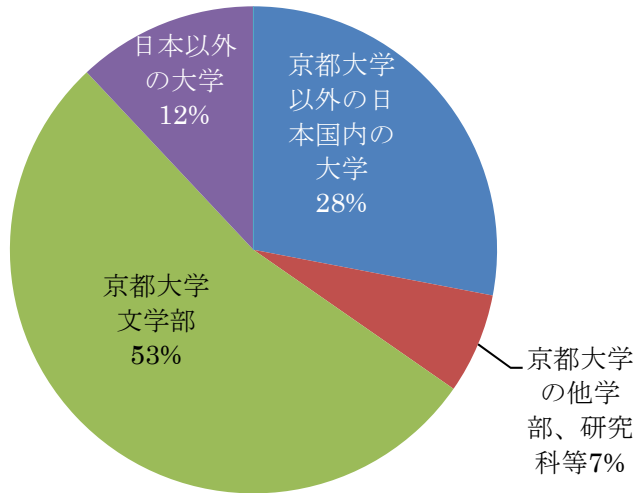
4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としてい
ますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、ど
のように考えますか？
 - a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。
 - b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。
 - c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも
言えない。
 - d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。
 - e. その他（ ）

5. あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？
- 十分に満足している。
 - それなりに満足している。
 - どちらとも言えない。
 - 後悔している。
 - その他（ ）
6. 4月以降の進路についてお聞きします。
- 博士課程進学（他大学も含む）
 - 博士課程進学の準備
 - 一般企業に就職
 - 官庁、地方自治体等に就職
 - 教員、司書等の専門職に就職
 - その他（ ）
7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。（複数回答可）
- 専門的知識
 - 専門分野の研究能力
 - 自分で問題を発見し、解決を図る能力
 - 一般的な教養
 - 国際感覚
 - 外国語の能力
 - リーダーシップ
 - 社会的常識
 - その他（ ）
8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。
東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・
歴史文化学・行動文化学・現代文化学
9. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

結果と分析

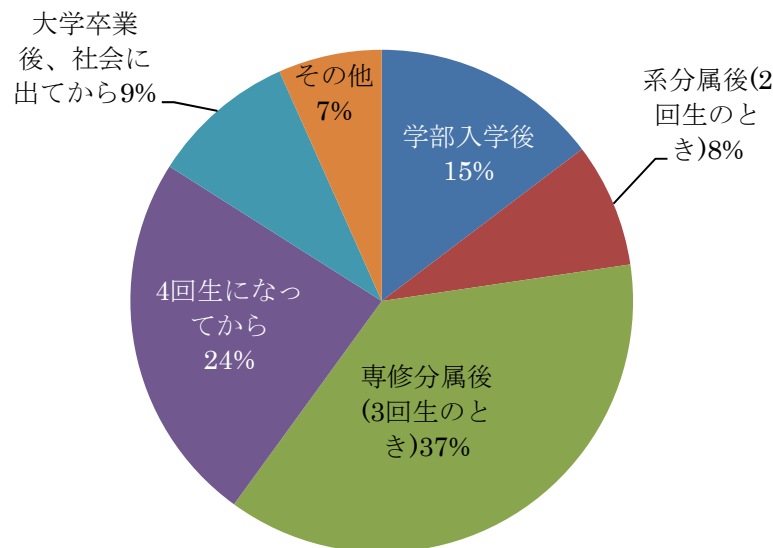
回答者数 76 人

1 あなたの出身大学・学部等についてお聞きます。



2009年度には国内他大学出身者が48%いたが、今年度はその比率が下がって28%となり、逆に2009年度にわずか3%であった日本以外の大学出身者が12%まで伸びている。京都大学文学部出身者が53%と約半数を占める点については変わらないが、それ以外の入学者の多様化が進んでいると言えそうである。

2 あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？

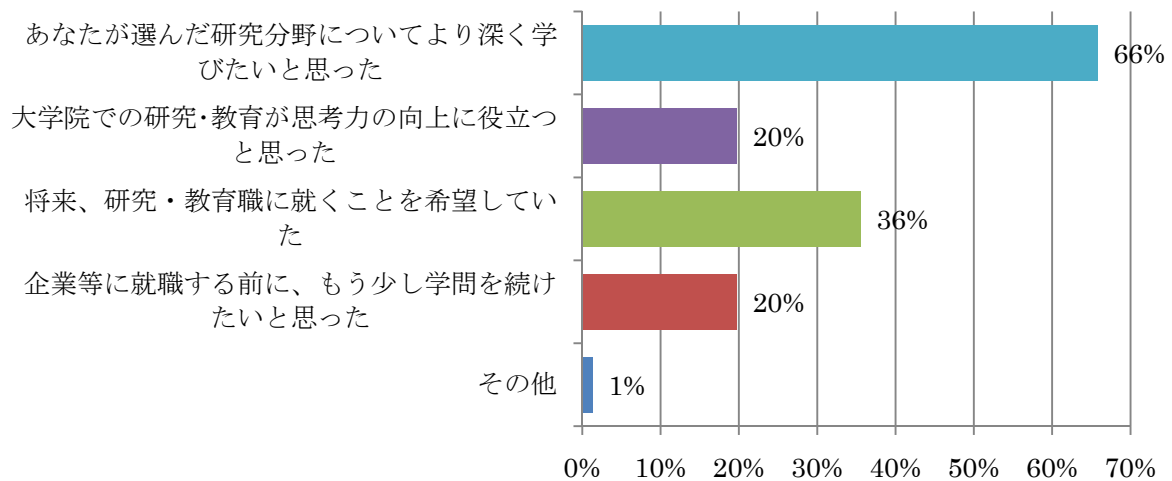


学部入学後という回答が15%、系分属後(2回生のとき)が8%、専修分属後(3回生のとき)が37%、4回生になってからが24%、大学卒業後、社会に出てからが9%、その他が7%であった。学部入学後にすでに決めていたという者もいるが、3回生・4回生のときに決めた者が6割を超える。このことは専門教育を受けるようになってから研究の面白さに目覚め、大学院でより深く学ぶことを決心したと解することができる。

一方、専修分属以前の2回生のときに決めたという修了生は1割に満たず、大学院進学への動機付けが2回生の時期にあまり見出せないようである。

以上のような状況は、2009年度と大きく変わることはない。

3 進学動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）

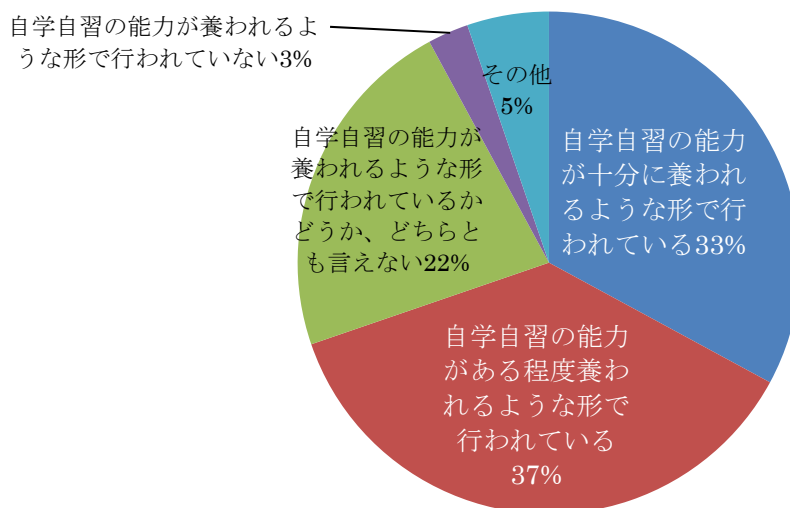


研究の深化という回答が66%、思考力の向上が20%、研究・教育職への就職が36%、企業等への就職前の研究の継続が20%、その他が1%であった。3分の2の学生が研究の深化という動機をもっていたことがとりわけ注目され、研究・就職職への就職希望36%という数字とともに、研究大学院としての文学研究科の特徴がよく表われていると言ってよい。

一方、思考力の向上を意図したり、就職前にもう少し学問を続けたいという回答がそれぞれ20%ずつあったことも見逃せない。これは近年、就職活動の開始が異常に早まってきた結果として、学部4年間だけでは十分学問に取り組んだという実感が得られないことの反映であるとも受け取れる。

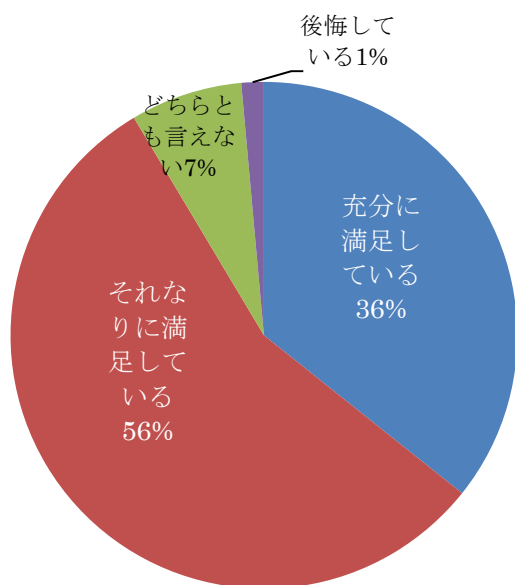
以上のような状況は、2009年度とほぼ同様であった。

4 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？



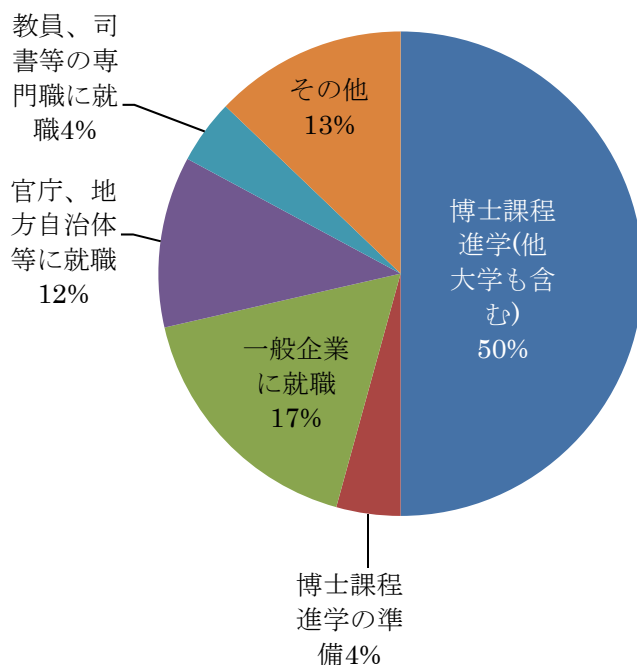
「自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている」という回答が33%、「自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている」が37%で、あわせて70%の者が、自学自習の能力が養われる形で授業・研究指導がなされていると感じている。2009年度よりも7ポイントの減であり、逆に「自学自習の能力が養われるような形で行われていない」という回答が3%あった点には注意が必要であるが、やはり京都大学の理念が文学研究科の教育、研究指導においてもよく表われていると考えてよさそう。

5 あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？



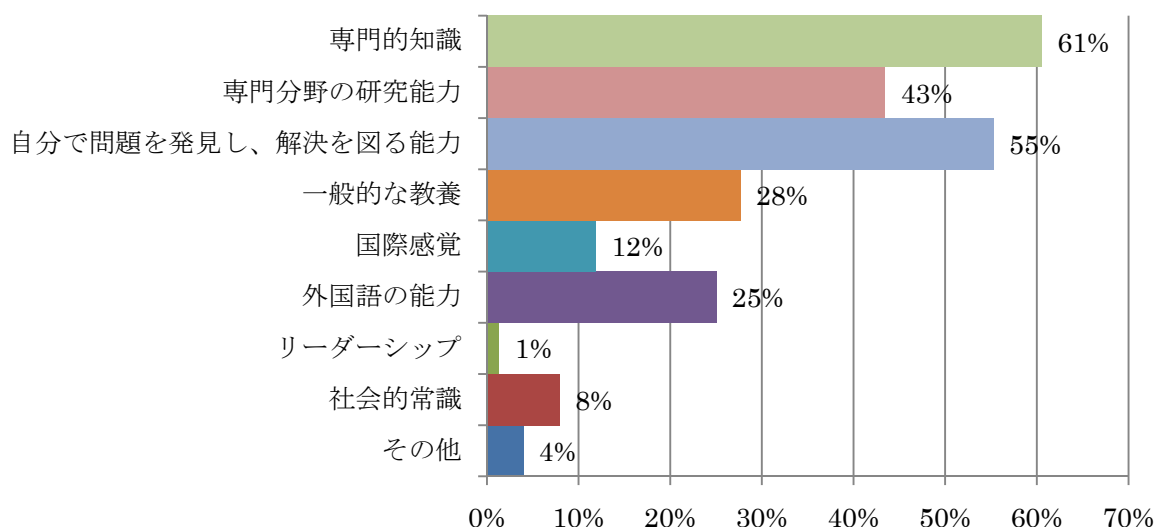
「十分に満足している」が 38%、「それなりに満足している」が 56%であり、あわせて 9 割以上の者が満足を感じている。「後悔している」が 1 名いたが、修了生の満足度はきわめて高いと考えられる。この状況は 2009 年度と大きく異なることはない。

6 4月以降の進路についてお聞きます。



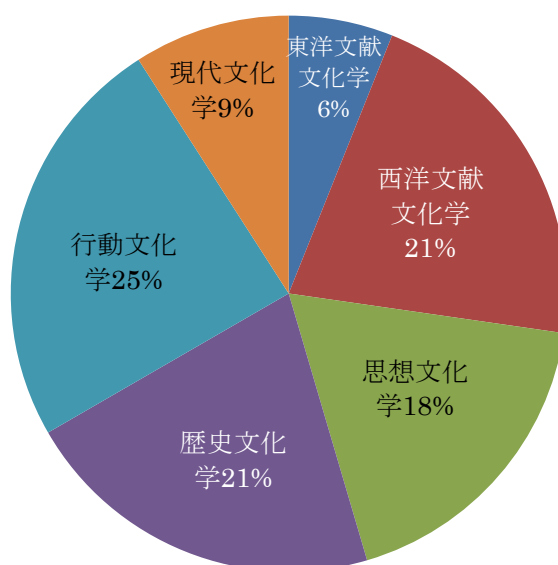
博士課程進学という回答が 50%、博士課程進学の準備が 4%、一般企業への就職が 17%、官庁、地方自治体等への就職が 11%、教員、司書等の専門職への就職が 4%であった。その他が 13%このぼろが、内訳は法律事務所・僧侶・教育関係・就職活動などであり、就職および就職希望者と考えるとよい。すなわち修士課程修了後、博士課程に進学する、あるいは進学を希望する割合は 54%、それに対して就職する、あるいは就職を希望する割合は 46%となり、両者はほとんど拮抗している。2009 年度にはそれぞれ 59%、41%であったことからすれば、修士課程修了後に就職する傾向がますます強まったと考えられる。

7 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。(複数回答可)



専門的知識という回答が 61%、専門分野の研究能力が 43%、問題発見能力・解決能力が 55%、一般的な教養が 28%、国際感覚が 12%、外国語の能力が 25%、リーダーシップが 1%、社会的常識が 8%、その他が 4%であった。一般的な教養や外国語能力といった実学的な内容よりも、専門的知識や専門研究能力といった研究者として必要な素養が高い割合を占めている。これも文学研究科が研究大学院として機能していることの表われであろう。ただし、問題発見能力・解決能力は研究面だけでなく、一般社会においても活かされるものである。以上のような状況は 2009 年度からほとんど変化していない。

8 お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。



平成21年度修士課程修了者アンケート

1. あなたの出身大学・学部等についてお聞きます。	人数
a. 京都大学以外の日本国内の大学	21
b. 京都大学の他学部、研究科等	5
c. 京都大学文学部	40
d. 日本以外の大学	9
e. その他	0

2. あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？	人数
a. 学部入学後	11
b. 系分属後(2回生のとき)	6
c. 専修分属後(3回生のとき)	28
d. 4回生になってから	18
e. 大学卒業後、社会に出てから	7
f. その他 (高校:4 日本に来てから:1)	5

3. 進学動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？(複数回	回答数
a. あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。	50
b. 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立ったと思った。	15
c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。	27
d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。	15
e. その他	1

4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのよう	人数
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	25
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	28
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない	17
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	2
e. その他	4

5. あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？	人数
a. 十分に満足している。	25
b. それなりに満足している。	39
c. どちらとも言えない。	5
d. 後悔している。	1
e. その他	0

6. 4月以降の進路についてお聞きます。	人数
a. 博士課程進学(他大学も含む)	35
b. 博士課程進学の準備	3
c. 一般企業に就職	12
d. 官庁、地方自治体等に就職	8
e. 教員、司書等の専門職に就職	3
f. その他 (法律事務所、僧侶、教育関係、就職活動)	9

7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙	回答数
げてください。(複数回答可)	
a. 専門的知識	46
b. 専門分野の研究能力	33
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	42
d. 一般的な教養	21
e. 国際感覚	9
f. 外国語の能力	19
g. リーダーシップ	1
h. 社会的常識	6
i. その他	3

8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。	人数
東洋文献文化学	4
西洋文献文化学	14
思想文化学	12
歴史文化学	14
行動文化学	16
現代文化学	6